

### 3) 子育てに関するシンポジウムなどの開催

子育てに関するシンポジウム、セミナー、両親学級、フォーラム、イベント、フェスティバル、祭りなどを通じ、地域における子育て支援の重要性を互いに啓発していくことも重要である。行政だけでなく、NPO、自治会、町内会などさまざまな組織や関係者が主催、共催、協賛し、学んだり楽しんだりしながら幅広く子育て支援の機運を盛り上げるようにする必要がある。

#### 【取組例】いきいき子育てフォーラム（滋賀県大津市）

大津市では、“子育て支援”を考える時、一方的な支援をするのではなく、＜子育てをする、子育てに関わる仲間＞として父母や地域市民の皆さんと共に子育てに関わり、互いに支え合い、子どもや大人、男女、老人等の区別なく、自分の思いを持って生活できるよう応援しています。市民自身が子育てを含む地域作りに参画し、一人ひとりが輝く出番や「子育ては楽しい!」「しあわせ」と感じる場を市民の皆さんと共に作っています。

“いきいき子育てフォーラム”は、子育て中の父母はもちろん、子育て自主サークルリーダー、関係機関（保育園や児童館、すこやか相談所、主任児童委員）行政等が集い、『大津の子育て支援について、その状況や具体的な内容を交流し確かめ合うと共に、今後の子育て支援の在り方について語り合い、展望を持つ』ことを目的に開催しています。

テーマに、『つながろう!語り合おう!子育ての仲間たち』—子どもの笑顔がひびき合う社会をめざして—と掲げ、子育てに関わる全ての仲間が、課題や夢!を語り合いながら、みんなの子育て支援を実現させたいと考えています。

大津市ではこれまでも各地域において自主サークル等が比較的活発に活動していましたが、個別的、単発的な活動がほとんどで、子育てに関する情報を更に得たい、子育て支援の内容を充実させたい、と要望も高まっていました。そこで、各地域やサークル個々の活動は尊重しながら、共につながり合い、高め合う場をめざし“いきいき子育てフォーラム”の開催を計画、実施に到ったのです。

主催は大津市地域子育て支援センター（風の子保育園・大津市立晴嵐保育園）、共催は大津市・大津市教育委員会、協力は大津市ファミリーサポートセンターと公の機関が関わると共に、具体的な取組は、実行委員会形式（委員は12名）で進めています。実行委員である子育て自主サークルリーダーの皆さんが企画から関わり、受付やオープニングの歌、手あそび、話題提供、と進行の要を担っています。

第5回を迎えた平成14年度は、次のような内容で進めました。

- ①自主サークル参加の母親によるオープニング
- ②各パネラーからの体験発表（子育て中の父母4名）
- ③参加者を含めた意見交換（子育て夢語り）
- ④講演「子育ていろいろ」

成果や課題としては、同じ立場の父母が語り合うことで、共感と納得があり自分達のこととして、子育て支援について共に考えるようになってきています。他都市や海外の事例を講演に盛り込むことで刺激となり、「かくあるべき!」という考えから、いろいろあって、それでいい、「子育ては考え合いや認め合いが大切」という思いも高まっています。

今後は、今一度、子育てに関わる全ての人、世代を通じた関わり、地域での育ち(育て)合い、を考え合うことが大切であり、現実には甘んじない、画期的な取組(施策)地域作りを父母と共に創造することが必要だと考えています。

## 2 地域における「子育て支援力」の充実（「地域子育て支援機能の再生」）

### 2.1 市民による子育て支援の充実

（施策の具体例）

- 1) 子育てサークル等に対する公共施設・店舗等の空き部屋の活用（無償貸与等）
- 2) 地域の高齢者や子育て経験者、子育て中の親等による子育て支援（異年齢、異世代交流）
- 3) 子どもとサービスをつなぐ「子育て支援委員会」（小学校区単位）や、行政等との連絡調整や「子育て支援委員会」への支援を行う「子育て支援ネットワーク委員会」の設置
- 4) 地域住民や行政機関による子育て支援ネットワークの形成・継続的活動の推進
- 5) ファミリー・サポート・センター、NPO等による子育て支援サービスの充実
- 6) 家事援助サービスの推進（出産直後や病気の母親がいる家庭、多子家庭、母子・父子家庭、要介護者がいる家庭等）
- 7) 読み聞かせ活動の充実
- 8) 既存の人的資源（民生児童委員、元保育士等）の有効活用

○ 今後、全ての子育て家庭を対象として、地域における子育て支援サービスを充実していくことが重要であるが、サービスの担い手としては、行政だけでなく、子育てサークル、地域の高齢者や子育て経験者といった市民の役割も大きい。

子育てに関する多様なニーズに対して、各地域できめ細かく応えることができるよう、地域住民が主体となって多様なサービスを提供し、行政がそうした活動を支援していくことが重要である。

#### 1) 子育てサークル等に対する公共施設・店舗等の空き部屋の活用（無償貸与等）

全国各地の乳幼児を持つ親を中心とした子育てサークル等は、近隣の親子が交流する場を設けたり、子育てについての相談や情報交換を行ったりする場を設けるなど、様々な子育て支援の活動を活発に行うようになってきている。こうした民間団体の活動は親子の孤立を防ぎ、子育て中の親への助力として極めて有意義であり、行政として積極的に支援することが必要である。

国立女性教育会館が実施した子育てサークルの活動に関する調査では、子育てサークルのリーダーが最も必要と感じている行政からの支援は「場所の提供」とされている。このため、公民館や児童館、保健センター、保育所・幼稚園、身近にある自治会の集会施設や学校の余裕教室等の公共施設の空き部屋、商店街の空き店舗等を子育てサークル等の活動の場としてさらに積極的に活用していくことが期待される。

### 【取組例】にこにこサークル（岐阜県萩原町）

萩原町では、核家族化の進展に伴い、託児サポートとして三十代から六十代の主婦16名が、平成14年12月より託児専門の「にこにこハウス ココル」を結成し活動を始めました。

託児サークル「ココル」を立ち上げるきっかけとなったのは、「自分達が子育ての過程で苦労した体験を、子育て中のお母さん方に少しでも役立たせたい」「今まで地域にお世話になったことを今度は地域にお返ししたい」という地域住民の強い思いからです。

平成13年4月には、厚生労働省の21世紀職業財団による子育て講習会に28名の方が参加し、保育サポーターの資格を取得するなど託児サークル結成に向けての基盤を整えることができました。

対象は、1歳程度から小学校2年生までとし、「買い物をゆっくりしたい」「上の子だけ病院に連れて行きたい」「子育てのストレスで少しの間預かってほしい」など、いろいろなニーズに対する子育てのお手伝いを目的としています。現在は、毎週水曜日（午前9時～午後3時）に町内の16館にて1時間600円で託児サポートをしています。また、水曜日以外の日で、どうしても子どもさんの託児の依頼をしたい場合についても両者の相談で場所を決め、託児サポートをすることができます。将来的には、育児の悩みを相談する交流の場として発展していくことを望んでいます。

今のところは、オープンしてまだ間もないということや母親が子どもを預けて外出することに抵抗を持つ人が多い地域性もあってか、利用される方は少ないのですが「あってほしいと思っていたサークルなので、町内にできて安心しました。」という住民の方々の声を大切にしながら、地域住民の地域住民のために立ち上がった「ココル」の活動を根気強く続けていきたいと考えています。

### 【取組例】地域ふれあいスクールモデル事業（新潟県新潟市）

新潟市教育委員会では、家庭・地域の教育力の向上と子どもの居場所の確保を図るため、平成14年9月学校を活用して「ふれあいスクールモデル事業」を開始しました。

この事業は、小学校の空き教室を、朝から夜まで地域の人たちに開放してサークル活動や会議などに利用してもらい、日中は子どもたちとも交流も行う「地域ふれあいスクール」と、小学校の空き教室を、放課後と土曜日の午前中の子どもの居場所として確保し、地域の様々な大人と遊びを通じた交流を図る「子どもふれあいスクール」の2つがあります。

ここでは、「地域ふれあいスクール」を中心に紹介を通してこの事業の概要を説明したいと思います。

現在、実施しているのは、新潟駅から徒歩5分の所にある笹口小学校です。周りはマンションが建ち並び、いわゆる転勤族の多い学校で、児童数384人のうち転入生と転向生合わせて年間60人位いる学校であり、同時に専業主婦の多い地域です。

この事業を開始するにあたり平成12年12月に地元で市教委で持ちかけたのは、地域で子どもを育てませんか、ということだけでした。あとは全て学校、地域、教委が2年間かけて生みの苦しみを乗り越えながら、協働して作り上げました。

運営委員会のほかに、コーディネーター37名（うちPTA31名）が日々の運営にあたっています。地域のサークル団体などの利用のほか、主催事業として日中、家にいる主婦等を対象にリトミック、お琴教室、フラワーアレンジメントなどを開催していま

す。児童たちは休み時間になると、母親が連れて来ている幼児たちと遊んでいます。また大人とオセロなどを楽しんでいます。この事業を通し地域で子どもを育てることの意味が認識されるとともに、転勤族も含めた人の輪が学校を中心に出来つつあります。

この2つの事業はどちらも学校を中心としたコミュニティーづくりであり、その中で子どもの豊かな心を育むことが最終的な狙いであり、これからも地域と共に目標に進んでいきたいと思っています。

## 2) 地域の高齢者や子育て経験者、子育て中の親等による子育て支援（異年齢、異世代交流）

多くの地域では、従来型の地縁に基づいた「地域」というものが十分機能しなくなってきている。このような中で、従来の保育所や自治体のサービスだけでなく、地域の中・高齢者や子育て経験者、子育て中の親が集まって作る子育てサークル等による子育て支援活動など、NPO等の草根の活動を活発化し、子どもたちがこうした地域の様々な人との出会いや交流の場ができるような取組を促進することが重要である。

### 【取組例】地域支えあい子育て（東京都世田谷区）

平成11年11月に「子どもを取り巻く環境整備プラン」の策定により、「子どもの尊重と自立支援」「子育て支援」「みんなが関わる社会環境の整備」を柱に施策を推進している世田谷区では、地域の方々の子育て支援の活動も活発です。

平成13年9月より、社会福祉協議会で『地域支えあい子育て』事業がスタートしています。支えあい子育ては、子育て中のお母さんがお子さんと一緒に、地域の支援者の方々の協力のもとに、一定時間を楽しく過ごせる『子育てサロン』と、お子さんの預かり支援をする、『ふれあい子育て』の活動があります。

『子育てサロン』は、子育て経験者や子育て支援に必要な内容の研修を修了した人等が代表となり、自宅や支えあい活動拠点で週1回から月1回、一定時間を親子いっしょに過ごしなが遊び、育児のこと、相談の相手など母親の育児不安の解消を目指した取組です。14年度に33か所で開始されており、参加された方は500人を超えています。1回当たり、活動の協力者は3人から4人で、参加者は10人から20人となっています。支援は、社会福祉協議会から1回、1000円の事務費です。その他、自主的に会費制のグループもあります。

『ふれあい子育て』は、お子さんの預かり支援をする仕組みとして、利用・協力者の登録制度で、在宅の方、勤労者の方共に利用できます。登録利用者は、社会福祉協議会の紹介により子育て経験者や子育て支援に必要な内容の研修を修了した人等の登録協力員に支援依頼をして、子育て支援を受けることとなります。内容としては、美容院等利用からリフレッシュのため、保育園・幼稚園の送迎、多子出産支援などで約1000人の利用登録者がいます。15年1月現在約500の方が協力者として、お母さんの子育て支援を行っています。

【取組例】親自身による子育てサークル活動、サークルリーダー講座（滋賀県大津市）

大津市では行政関係課（健康管理課—すこやか相談所、児童家庭課—公民保育園、子育て支援センター、学校教育課—幼稚園、生涯学習課—児童館）が連携しつつ、未就園乳幼児の子育てサークル（親子のあそびの広場）を主宰しています。32学区に約70サークルがあり、活動回数はサークルによって月1回～4回と様々です。運営の主体は関係職員ですが、父母ができるだけ主体的に参加できるように、役割や出番を工夫し、父母の思いや要望に共感し、共にサークル活動を進めています。

行政各機関による子育てサークル活動が定着し、サークルの楽しさや、サークルに参加することで子どもの成長、他の家族との交流等、父母自身が成果を感じ、更にサークル活動を続けたい思いが高まった頃から“父母自身による子育て自主サークル活動”が活発になっていきました。現在では、50～70の自主サークルが活動しています。関係機関でも、父母の主体的な活動を当初から願っていましたので、要望に応じて協力、支援をしています。

「子育て自主サークルリーダー講座」は自主サークルに対する支援の一つとして、また、市民のエンパワーメントの活用と高まりを願って実施しています。

主な目的として、

- ・ 子育ての楽しさを実感し、悩みや迷いを解消する場の提供
- ・ 保護者が和み、憩いつつ学ぶ場の提供
- ・ 具体的な遊びの内容や方法について学ぶ場の提供

を掲げ、親子で楽しむ講座と、子どもの保育を別室に設定し、父母だけが参加する講座とを設定して開催しています。

例えば、大津市地域子育て支援センター（晴嵐保育園）が主催している平成14年度の主な実施内容は次の通りです。

夏のあそび	—実技と話—	（15世帯  子ども20名参加）
わらべうたあそび	—実技と話—	（13世帯  子ども15名参加）
リズムあそび	—実技と話—	（46世帯  子ども54名参加）
絵本と心育て	—実技と講演—	（34世帯  保育27名参加）
親子で育ち愛	—講演会—	（83世帯  保育27名参加）
小学校の生活と体験	—お話とグループ交流—	（24名参加）
パソコン体験	—実技と話—	（7世帯  保育10名参加）

成果としては、具体的なあそびの内容、方法を習得すると共に、サークル同士の交流の場になり、子育てを語り合う場になっています。今後も継続的な開催を実施しながら、講座受講者による各地域での伝え合いができるようサポートすると共に、市民の要望を大切に、各サークルと共催で子育て講座を開催し、父母が主体性を更に育めるようにしていきたいと考えています。